

小林市議会「市民との意見交換会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	西小林小校区	担 当 班	議員名	担当
参加人数	26人		◎坂下 春則	司会進行
開催日	平成27年7月29日(水)		森田 哲朗	活動報告(総務文教)
開催時間	午後7時～午後8時30分		杉元 豊人	(経済産業)
会場	西小林地区公民館		吉藤 洋子	(市民厚生)
その他	1班		鎌田 豊数	(広報広聴)
			森田 哲朗	記録・報告書作成

◎班代表者

意見交換会の内容		※□市民の意見	■議員の意見
統一テーマ	「活力ある地域づくりのために ～雇用・結婚・子育て・定住～」		
<p><b>【意見交換の概要】</b></p> <p>□西小林地区は空き家が増え、若者がいなくなり、過疎が進んでいる。若者が地域に定着する施策を講じてほしい。市立病院の小児科・産婦人科の充実、若者の雇用の確保をしてほしい。</p> <p>■市立病院の小児科・産婦人科医師の確保は、これまで多くの議員が当局に対し、確保活動や見通しや成果を質している。特に小児科・産婦人科医は全国的にも不足状態である。当局も確保に奔走しているが、大変厳しい状況である。現在は小児科の非常勤医師が毎週金曜日と日曜・祝日は月2回診療している。常勤医師確保に向けて、諦めずに当局に質していく。</p> <p>■雇用確保が本市の第一の課題である。そのために3.9ヘクタールの工業団地を南西方字杉玉に造成することとなった。</p> <p>□企業誘致のために工業団地をつくるということだが文化的環境の充実も必要。光ケーブルやケーブルテレビもないでは企業も来ないのではないか。環境整備を当局に訴えてほしい。</p> <p>■高速インターネット環境の整備も併せて、一般質問や委員会審査を通して要望していく。</p> <p>□江南跡地の活用はどうなっているのか。</p> <p>■今は全くの構想段階である。</p> <p>□婚活も民間レベルで行われているが、市でも本気になって取り組んでいただきたい。市には危機感がない。</p>			

■婚活事業は団体や商店街などでは行われているが、市としての取り組みはない。以前、野尻町で実施した「トリプルあい事業」を復活させてはという意見が議員から出されている。この事業は地元の参加者だけではなく近隣市町村からの参加もあった。成婚に結び付いた実績もある。

□川内原発で事故が起こった場合、本市も影響を受け、農業などが風評被害に遭う恐れがある。議会として再稼働に反対運動をしてほしい。議会はどのような対応をしてきたのか。

■6月議会で、市民から「(株)九州電力に住民説明会を求める陳情書」が出され、議会は不採択（却下）としたが、9月議会では、「川内原発再稼働について公開住民説明会を求める請願」を採択した。

### 自由意見の交換

※□市民の意見 ■議員の意見

□小中学校の耐震化はどうなっているのか、統廃合計画はあるのか。

【調査事項】平成27年度に南小学校の改築が完了すると、小中学校21校の耐震化が完了し、耐震化率100%になる。統廃合計画は現在のところない。学校の統廃合は、保護者、地域住民との丁寧な議論が必要と考えている。

□西小林小中学校の現状を見たか。玄関は鉄筋がむき出しになっており、モルタルは何回も補修している。廊下の天井から雨漏りもする。これで耐震化率100%と言えるのか。実情をしっかりと把握していただきたい。

【調査事項】今後は老朽化が課題である。市は災害時機能の充実と長寿命化対策として、国の施策に従って計画策定に取り組む考えである。

□はまだストアー西側道路踏切の整備の件はどうなっているのか。

【調査事項】整備の請願に対して、市から回答があった。現在①踏切改良②道路改良③橋梁の架け替えを実現するために県と交渉中である。まず道路敷地内の個人名義の土地を県道に編入するために、調査委託料を予算計上し、9月議会で可決された。議会で実現に向け質していく。

□北西方に避難所がない。前回の意見交換会でも要望したが報告がない。議会から強く要望してほしい。

【調査事項】市も状況を理解している。自主避難所として公民館等を利用できないか検討するということなので、議会としても一般質問等で要望していく。

□プレミアム商品券について、一人暮らしや買いに行けない人への配慮がなかった。対策を検討してほしい。

■一般質問等で質していく。

□ゴミの分別について細かすぎて高齢者が困っている。対策として北清㈱に委託することも考えていいのではないか。行政にしっかり問うべきである。

■ゴミ出し弱者のための「ふれあい収集」制度がある。分別方法の検討については、一般質問や委員会審査を通して要求していく。

□ゴミ収集業務をNPO赤とんぼに委託している。委託業務に問題が出ていないか9月議会でしっかりチェックしてほしい。

【調査結果】市民厚生委員会で調査し、問題がないことを確認した。

□有機農法についての取り組みは怎么样了のか。

■エコファーマーを育成しているが平成25年度157件、26年度146件と減少傾向にある。農家の高齢化やエコファーマーになるメリットが感じられないことが原因と思われる。有機農業についても生産した農産物が高く販売できる保証はなく、有機認証を受ける農家が増えない。生產品の流通経路の確保が必要である。

□市立病院の未払い金の状況はどうか。

【調査結果】平成25年度決算での未収金は14,298,452円であった。

□選挙の前に各議員がどのような質問をしたのか公表してほしい。

■議員の一般質問の内容は、「はなみずき」で議会のたびに紹介している。

### **議会活動報告への意見**

※□市民の意見 ■議員の意見

※特にありません。